

校内実践事例紹介（小学部）

校内で取り組まれている実践事例・教材教具を紹介します。

目標

数字一数を結びつける（自立活動）

実態

- 1対1対応ができる。
- 数字を見て答える（10まで）。
- 数字を見て、数をそろえることが難しい。

ポイント

- 興味のあるイラストなので関心をもって取り組める。
- 自分で間違いに気づく。
- 数字一数唱一数量の一致。（数の概念形成）

取組事例



児童の関心のあ
るイラスト

3択で選ぶ

絵カードを並べて（5より大きい数の場合は上段に5、下段に残り）その下に数字カード3枚を順序数に並べ、提示する。児童が、具体物をひとつひとつ指で押さえながら数唱し、3枚の中から正解のカードを選ぶようにする。



これからの
学習として

数字カードの枚数を増やしたり、順序数にせずランダムにしたりと、少しずつ課題の難易度をあげる。児童の学習到達度に合わせて教材を変化させることができる。

目標

ひとりで見通しをもって走ることができる（自立活動）

実態

- 運動が苦手。
- 苦手なことをしたがる。
- 数・量関係の一致（10まではできる）

ポイント

- 何周走ったのか自分で分かる。
- 好きなキャラクターを貼れるので、モチベーションがあがる。

取組事例



磁石に好きなキャラクターがついている

朝トレーニング時に使用。一周走り終わるごとに、好きなキャラクターを選んでボードに貼り付ける。次はどのキャラクターを貼ろうかと楽しみにして駆け出す。大体いつも7分間で7週のペースだが、「今日は6だった。遅かった。」とボードを見て振り返りもできるようになってきた。



キャラクターからの励ましメッセージも

所々に励ましのメッセージを入れることで、意欲持続に。

